WebParaNews オンライン・コンコーダンサーの機能と使い方

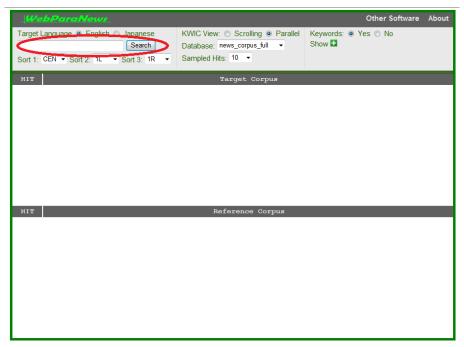
(Ver. 1)

〇 準備編

1. http://www.antlab.sci.waseda.ac.jp/webparanews/にアクセスするか, あるいはインターネットで「WebParaNews」を検索して最初に得られる検索結果をダブルクリックする。



- 2. WebParaNews の初期画面が現れ、検索作業が可能となる。検索したい語句(検索語)
- を、検索ボックスに入力して、Search ボタンをクリックするか ENTER キーを押す。



3. たとえば、"lawyer" を検索すると、"lawyer" を含む英語文の検索結果が、画面上半分の **Target Corpus 画面**に 10 文表示される。また、それらの英文に対応する日本語文 10 文が、画面下半分の **Reference Corpus 画面**に表示される。

検索語を中心に据えた英文の表示形式は **Key Word In Context (KWIC)** と呼ばれる。検索結果は、コンコーダンス画面やコンコーダンスラインと呼ばれる。

WebParaNews では、このように、検索語を含む英文とそれに対応する日本語文が一画面に表示されるので、英語と日本語の文例を対照させながら学習することができる。

この検索結果のように、デフォルト設定(標準的な動作環境を想定してあらかじめ設定されている状態)で、通常の検索に対応可能である。加えて、① Target Language、② Sort、③ KWIC View、④ Database、⑤ Sampled Hits、⑥ Keywords & Show、⑦ HIT の機能を利用することで、より詳細な検索設定が可能である。

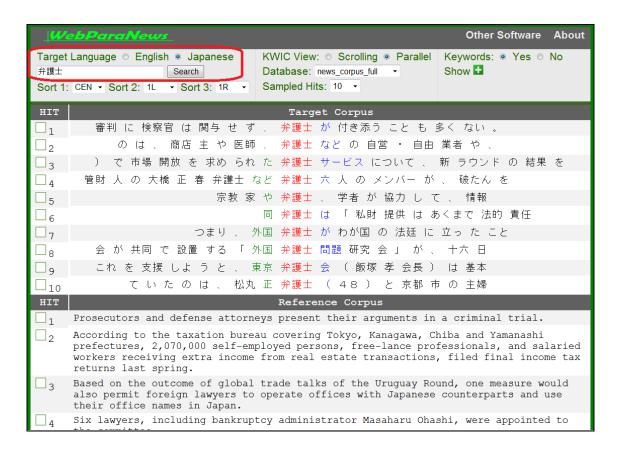


① Target Language

WebParaNews は、英語と日本語の二言語コーパスを搭載している。Target Language のラジオボタンを English あるいは Japanese のどちらかに設定することによって、Target Corpus 画面と Reference Corpus 画面に表示する言語を選択できる。

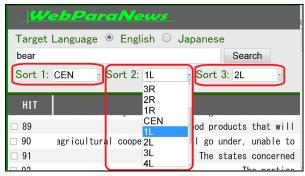
デフォルト設定ではTarget Language はEnglishに選択されており,英語の検索結果がTarget Corpus 画面に、それに対応する日本語の検索結果がReference Corpus 画面に現れる。

日本語の"弁護士"を検索したい場合は、**Target Language を Japanese に設定し**、検索ボックスに"弁護士"を入れて、Search ボタンを押す。Target Corpus 画面に日本語の検索結果が、Reference Corpus 画面に英語の検索結果が現れる。



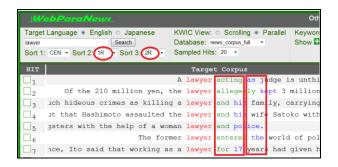
② Sort

WebParaNews では検索結果を観察しやすくするために、検索語および検索語の左右の語を ABC 順に並べ替えるソート (Sort) 機能が付いている。検索結果の表示順序を、検索語から左右8番目の語まで、第1 (Sort 1)、第2 (Sort 2)、第3 (Sort 3)の3つのソートキーごとに、優先順位を指定することができる。



デフォルト設定では、Sort 1 が CEN (検索語)、Sort 2 が 1L (検索語の左 1 語目)、Sort 3 が 1R (検索語の右 1 語目) に設定されており、Search ボタンをクリックするとその優先順位にしたがってソートした結果が表示される。検索前に、出力したい優先順位を設定しておくと、指定した表示順序に並べ替えられた検索結果が得られる。また、一度出力されたコンコーダンスラインに対して、新たにソートの基準を変えて Search ボタンをクリックすると新たな表示順序に並べ替えることができる。

並べ替えの基準を、検索語を中心に右側の語を ABC 順にソートする「CEN, 1R, 2R」に指定した場合(いわゆる**右ソート**)の検索結果画面を示す。



並べ替えの基準を、「CEN, 1L, 2L」に指定した左ソートの検索結果画面を示す。



③ KWIC View

WebParaNews の KWIC 画面(検索結果画面)の表示は、デフォルトの Parallel 表示の他に、Scrolling 表示を選択できる。検索結果が大量でパソコンの一画面の表示域に収まらない場合、Scrolling を選択すると、 Target Corpus と Reference Corpus の表示域は、一画面に収まるように表示される。カーソルで指し示す Target Corpus 上の文と対応する Reference Corpus の対訳文がハイライトされながら、画面上に同時にスムーズにスライドして表示される。

4 Database

WebParaNews で使用している日英新聞パラレルコーパスは,1989 年 9 月から 2001 年 12 月までの読売新聞と The Daily Yomiuri から自動作成された日英新聞記事対応付けデータ (JENAAD)であり、情報通信研究機構との知的財産利用契約に基づき一般公開用に有償で公開されたコーパスを使用している。

WebParaNews で検索する日英新聞パラレルコーパスのサイズは、news_corpus_full か news_corpus_1000 かのどちらかを選択できる。デフォルトは news_corpus_full に設定されている。news_corpus_full は、英語・日本語各 150,000 文のパラレルコーパスであり、news_corpus_1000 は、英語・日本語各 1,000 文のパラレルコーパスである。例えば、名詞 occupant など頻度の低い語を検索する時には前者が適切であり、定冠詞 the など、頻度の高い語を検索する時には、後者が有効である。

Sampled Hits

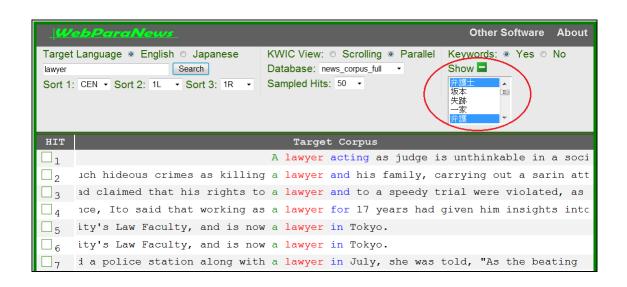
WebParaNews では、検索結果の表示数を 5 文から 500 文まで、5, 10, 20, 50, 100, 500 の 6 通りの中から選択できる。デフォルトでは 10 に設定されている。例えば、envelope を head noun とする名詞句などを丁寧に観察したい時には、検索結果が限定される 5 文、10 文のような検索数を絞った表示が適切と思われる。一方、organize の変化形や派生形を観察する時など、生起回数の少ないものも出力したい場合には、50 文や 100 文など検索結果が多い方が多様な例文が現れるので適切であろう。

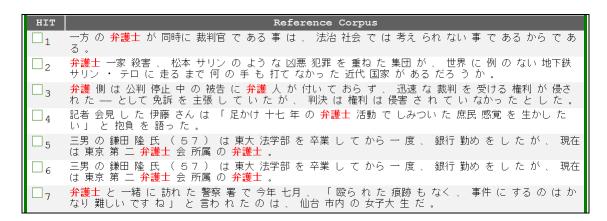
6 Keywords & Show

WebParaNews では検索語に対応する訳語をハイライトさせることができる。まず、

Keywords が Yes になっているのを確認し、マルで囲った部分の Show の右側の「+」をクリックして、検索語 *lawyer* の日本語訳の候補を出す。なお、クリックすると「+」は「ー」に変わる。「弁護士」と「弁護」をクリックして、マルで囲った部分のようにハイライトさせる。コントロールキーを押しながら翻訳候補をクリックしていくと、複数の候補をハイライトさせることができる。

Search ボタンを押すと、 Reference Corpus の日本語文の「弁護士」と「弁護」の部分が赤字で表示される。Show 機能を使う際には、Sampled Hits の数を多く設定した方が、精度良く対訳候補を表示することができる。





(7) **HIT**

教師向けの機能として、選択した検索結果を削除できる編集機能がある。精選したコンコーダンスラインのみを印刷してハンドアウトを作成する際に有効である。まず、検索結果のうち削除したい行番号の左の□をクリックする。Target Corpus と Reference Corpus の両方に図が付く。選択が終了したら、Target Corpus の左上方にマルで示した、ごみ箱のマークをクリックする。選択したコンコーダンスラインが削除される。



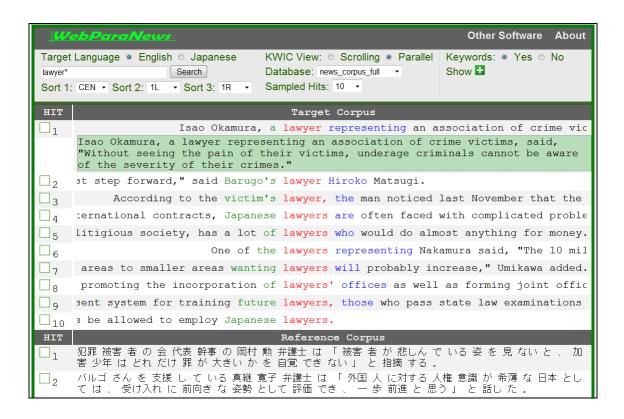


○ その他の機能

ワイルドカード:検索語句の入力にはワイルドカード(wildcard)と呼ばれる特殊記号を利用することができる。「*」は任意の文字列を表し、例えば、as * as と入力すると、as early as、as far as、as well as などが検索できる。また、lawyer*と入力すると、lawyer、lawyers、lawyer の変化形が一度に検索できる。

ハイライト: Target Corpus あるいは Reference Corpus のコンコーダンスライン上にカーソルを置くと, 対応する Reference Corpus あるいは Target Corpus の両方のコンコーダンスラインがハイライト表示される。

全文表示: Target Corpus の KWIC 表示では検索語の文字列を含む1行のみが表示される ため、多くの場合、文の両端が切れて表示される。1文全部を見たいときには、その行のコ ンコーダンスラインをクリックすると、英文の全文がコンコーダンスラインの下に表示さ れる。



参考文献:

- 1) Anthony, L. WebParaNews v.001 (Build 201203151448) [Computer Software]. Tokyo, Japan: Waseda University, 2012. Available from http://www.antlab.sci.waseda.ac.jp/
- 2) Anthony, L., Chujo, K. and Oghigian, K., A Novel, Web-based, Parallel Concordancer for Use in the ESL/EFL Classroom, in Newman, J., Baayen, H. and Rice S. (eds.) Corpus-based Studies in Language Use, Language Learning, and Language Documentation, Amsterdam/New York, Rodopi Press, 2011, 123-138.
- 3) Chujo, K., Anthony, L., Oghigian, K. and Uchibori, A., Paper-Based, Computer-Based, and Combined EFL DDL Approaches Using a Parallel Web-Based Concordancer, *Language Education in Asia*, 3(2), 2012, 132-145.
- 4) 中條清美,アントニ・ローレンス,西垣知佳子,「日英パラレルコーパス検索サイト WebParaNews の公開-開発と実践利用-」,外国語教育メディア学会(LET)第 52 回 全国研究大会,甲南大学,岡本キャンパス,発表要項集,2012年8月,94-95.
- 5) Chujo, K., Oghigian, K. and Chikako, N., Beginner Level EFL DDL using a Parallel Web-Based Concordancer, *Proceedings of the FEELTA 2012*, Far Eastern Federal University, Vladivostock, Russia, pp.1-5, 2012.
- 6) 中條清美, アントニ・ローレンス, 内山将夫, 西垣知佳子, 「WebParaNews を利用した Web 版 DDL 教材の開発」, 日本大学生産工学部研究報告 B, 第 46 巻, 2013, 27-37.
- 7) Chujo, K., Anthony, L., Oghigian, K. and Yokota, K., Teaching Remedial Grammar through Data-Driven Learning Using AntPConc, *Taiwan International ESP Journal*, 5(2), 2013, 65-90.
- 8) 中條清美,アントニ・ローレンス,内山将夫,西垣知佳子,「フリーウェア WebParaNews オンライン・コンコーダンサーの英語授業における活用」日本大学生産工学部研究報告 B, 第47巻,2014.
- 9) Nishigaki, C. and Chujo, K. L2 Data-Driven Learning with a Free Web-Based Bilingual Concordancer, *The Proceedings of the 12th Annual Hawaii International Conference on Education*, Waikiki Beach Marriott Resort & Spa / Hilton Waikiki Beach Hotel, Honolulu, Hawaii, USA. 2014.
- 10) 内山将夫, 井佐原均,「日英新聞の記事および文を対応付けるための高信頼性尺度」, 『自然言語処理』, 10(4), 2003, 201-220.

謝辞:本研究は平成 25-28 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(25284108) を受けて行われました。